

環境アセスメント学会

2015年度 第14回大会プログラム

日程 2015年9月4日（金）5日（土）

会場 龍谷大学瀬田キャンパス8号館地下（8-B101, 8-B102, 8-B103 教室、ホワイエ）

大会スケジュール・プログラム概要

大会1日目（9月4日、金曜日）

午前	9:00- 大会受付 (8号館地下ホワイエ)		
	9:30-11:30 特別集会Ⅰ (8-B101) 地熱発電所など冷却塔排気の 環境アセスメント技術	9:30-11:30 特別集会Ⅱ (8-B102) 「野生生物と交通」の現状と その課題	9:30-11:30 一般講演 (8-B103) セッション1 「政策・制度(1)」6件
	11:30-13:30 ポスターセッション・コアタイム (展示は9月4日10:00～9月5日12:00) (ホワイエ) *ポスター発表者は9月4日10時までに掲示、9月5日13時までに撤去		
午後	11:30-13:30 昼食		
	12:30-13:00 理事会 (7号館1階環境実習室2)		
	13:30-13:40 開会式 (8B-101) 開会挨拶 松木平 淳太 (龍谷大学理工学部長) 柳 憲一郎 (環境アセスメント学会会長)		
	13:40-14:30 特別講演「滋賀県の環境と環境アセスメント」 (8B-101) 上田宜和 (滋賀県琵琶湖環境部環境政策課)		
	休憩10分		
	14:40-17:00 企画委員会主催シンポジウム (8B-101) テーマ: 「わが国の環境アセスメントと国際社会」 司会 大田黒信介 (本学会国際交流委員会幹事) 【趣旨説明】 原科幸彦 (本学会国際連携担当理事) 【パネリスト報告】 (1) 持続可能なアジアに向けた環境影響評価の展開 大森恵子 (環境省環境影響評価課) (2) JICAの環境社会配慮の取組みと課題について 渡辺淳 (JICA 審査部) (3) 環境アセスメントにおける JEAS としての今後の国際的な役割～実務の観点から～ 松永忠久 (日本環境アセスメント協会海外交流グループ) (4) 海外インフラ事業での環境社会配慮: インド DFC プロジェクト等を事例とした日本の EIA 技術適用と海外事業での社会配慮 青木智男 (日本工営(株)コンサルタント海外事業部) (5) 12年間のこれまでの国際交流を振り返って 田中章 (本学会国際交流委員長) (6) IAIA16の日本開催 村山武彦 (IAIA16大会実行委員会) 【パネル討論】 「国際社会における環境アセスメント分野の日本の展開」 ファシリテーター 原科幸彦 (本学会国際連携担当理事)		
	17:00-17:40 奨励賞受賞記念講演 (8B-101) 実務部門受賞者 新井聖司 (大日本コンサルタント(株)) 生物多様性ポテンシャルマップの研究と実務での展開について 研究部門受賞者 伊東英幸 (日本大学) 生態系および生態系サービスの評価, 生物多様性オフセット・バンキングに関する研究紹介		
	17:40-17:45 優秀ポスター賞授賞式		
	18:00-20:00 懇親会 (RECレストラン)		

大会 2 日目 (9月5日、土曜日)

午前	9:00- 大会受付 (8号館地下ホワイエ)		
	9:30-11:30 特別集会Ⅲ (8-B101) アセス電子図書の管理	9:30-10:40 一般講演 (8-B102) セッション2 「政策・制度(2)」4件	9:30-11:05 一般講演 (8-B103) セッション4 「生活環境・放射性物質」5件
		10:40-12:40 一般講演 (8-B102) セッション3 「自然環境」7件	11:05-12:30 一般講演 (8-B103) セッション5 「事業種(風力アセス)」5件
午後	12:40-13:30 昼食		
	13:30-15:30 「龍谷の森見学ツアー」 里山、森ラボ(薪ストーブ)、バイオトイレ、25m高観測タワーなど		

特別集会プログラム

I	9月4日(金)9時30分～11時30分 (8-B101) 地熱発電所など冷却塔排気的环境アセスメント技術 オーガナイザー:市川陽一(龍谷大学) 発表、質疑、全体討論 (1) NEDOにおける地熱発電の普及拡大に向けた取り組み 安生哲也(新エネルギー・産業技術総合開発機構) (2) 地熱発電所に係る環境アセスメントのための硫化水素拡散予測数値モデルの開発 佐藤歩(電力中央研究所) (3) 硫化水素拡散予測シミュレーションモデルの研究開発 大河内春夫(日揮(株)) (4) 湿式冷却塔・空冷復水器からの排気拡散予測モデル 道岡武信(近畿大学)
II	9月4日(金)9時30分～11時30分 (8-B102) 「野生生物と交通」の現状とその課題 オーガナイザー:山田芳樹((株)ドーコン/ロードエコロジー研究会) 発表、質疑、全体討論 (1) 「野生生物と交通」の現状とその課題の趣旨説明 山田芳樹((株)ドーコン/ロードエコロジー研究会) (2) 野生動物と車両との交通事故の実態 野呂美紗子(北海道開発技術センター/ロードエコロジー研究会) (3) 地上を歩かない小型哺乳類の保全事例 浅利裕伸((株)長大/ロードエコロジー研究会) (4) アニマルパスウェイの開発と普及 湊秋作(アニマルパスウェイ研究会/関西学院大学) (5) 日本におけるロードキル、バリアー効果に関する研究と環境保全措置の現状と課題 園田陽一(国土技術政策総合研究所/現・(株)地域環境計画)
III	9月5日(土)9時30分～11時30分 (8-B101) アセス電子図書の管理 オーガナイザー:浦郷昭子、傘木宏夫(本学会情報委員会) 発表、質疑 (1) 手続き終了後のアセス図書の保存と利用をめぐる 傘木宏夫(NPO地域づくり工房) (2) 条例アセスにおける電子縦覧制度の動向調査 森本尚弘(日本環境アセスメント協会) (3) 法令に基づき作成・公開された図書の著作権をめぐる 早川和宏(弁護士、東洋大学) 環境省、自治体、アーキビストを交えた意見交換

一般講演プログラム（注：肩書きは報告者のみ、A,Bは発表時間による分類）

大会1日目【9月4日（金）】

会場 8号館地下8-B103教室

セッション1「政策・制度（1）」 座長： 梶谷 修 （座長補佐： 柴田 裕希）

1	9:30-9:50	発表取り消し
2	9:50-10:10 A	「自主的環境配慮を促すスクリーニング手続の改善に向けた一考察 ～EUアセス指令2014年改正を踏まえて～」 ○錦澤滋雄（東京工業大学大学院）
3	10:10-10:30 A	「環境影響評価の観点から見た災害復旧・復興事業について」 ○坂田修一（環境省）、大森恵子、福島慶三、安陪達哉
4	10:30-10:50 A	「常磐線特定環境影響評価(事後調査までの経過報告)」 ○池澤紀幸（株）復建技術コンサルタント
	(5分休憩)	
5	10:55-11:10 B	「都道府県における事後調査制度の運用状況及び事後調査報告書の環境影響評価審議会での審議の効果」 ○古田島優介（桜美林大学）、藤倉まなみ
6	11:10-11:30 A	「環境アセスに対するNGO等の動向に関する調査」 ○傘木宏夫（NPO地域づくり工房）

大会2日目【9月5日（土）】

第一会場 8号館地下8-B102教室

セッション2「政策・制度（2）」 座長： 沖山 文敏 （座長補佐： 水落 朋子）

1	9:30-9:45 B	「人口減少下における持続可能性アセスメントについて」 ○倉阪秀史（千葉大学大学院）
2	9:45-10:05 A	「千葉県の基礎自治体における環境アセスメントに関する取り組み」 ○兪洋（千葉商科大学）、杉本卓也、鈴木羽留香、原科幸彦
3	10:05-10:25 A	「アセス法の対象とならない火力発電計画の環境保全等に関する考察」 ○福島慶三（環境省）、安陪達哉、坂田修一、中村祥、真田純子、淵澤智典、井伊亮太
4	10:25-10:40 B	「企業活動における自主的環境アセスメント実施ガイドブックの検討（中間報告）」 ○中田俊宏（日本環境アセスメント協会）、安藤伸彦、大谷正太、片岡毅、土門優介

セッション3「自然環境」

座長： 宮下 一明 (座長補佐： 田中 亨)

1	10:40-11:00 A	「都市河川大和川河口・下流域におけるアユの生育環境に関する研究」 ○熊野哲也（大阪市立大学大学院）、板谷天馬、矢持進
2	11:00-11:20 A	「生物多様性オフセット導入に向けた調査研究～ステークホルダーへのアンケート結果～」 ○井出功一（日本環境アセスメント協会）、新井聖司、小田信治、相澤郁、青島正和、板垣一紀、犬飼博信、小島雅史、城本太郎、西澤正、西澤まり、橋本豊、堀吉博、松岡明彦、松宮綾香、道家健太郎、矢代幸太郎、吉沢清晴、渡邊千佳子、渡部陽介、田中章
3	11:20-11:35 B	「生物多様性オフセットの評価手法のフレームワークに関する一考察」 ○林希一郎（名古屋大学エコトピア科学研究所）、大場真
4	11:35-11:55 A	「生物多様性オフセットの対象としての社会的ネットワーク」 ○太田貴大（長崎大学大学院）、高田雅之
5	11:55-12:10 B	「里海バンキングに向けたマルチステークホルダー会議の可能性についての研究 ーアカウミガメの産卵地保全をケーススタディとしてー」 ○濱崎里那（東京都市大学）、田中章
6	12:10-12:25 B	「“里山バンキング”における計画デザイン手法開発に関する研究」 ○松宮綾香（東京都市大学大学院）、田中章
7	12:25-12:40 B	「保全優先度を用いた広域における生態系サービス評価」 ○大場真（国立環境研究所）、林希一郎、伊東英幸

大会2日目【9月5日（土）】

第二会場 8号館地下8-B103教室

セッション4「生活環境・放射性物質」 座長： 石川 公敏 (座長補佐： 矢代 幸太郎)

1	9:30-9:50 A	「細街路交通量推計モデルの作成」 ○茂木高嶺（中央大学）、島川陽一、鹿島茂
2	9:50-10:05 B	「国立・国定公園内の地熱発電施設に対する登山者の景観評価」 ○津波倉健太（東京工業大学大学院）、錦澤滋雄、村山武彦
3	10:05-10:25 A	「環境影響評価法の改正に伴う放射性物質の取扱いについて」 ○會田義明（環境省）、相澤寛史、水落朋子
4	10:25-10:45 A	「放射性物質の環境影響評価方法について」 ○内田英夫（エヌエス環境(株)）、成岡秀訓、吉田大輔
5	10:45-11:05 A	「環境放射能除染事業における環境アセスメント技術の適応可能性について」 ○古松正博（パシフィックコンサルタンツ(株)）

セッション5「事業種（風力アセス）」 座長： 塩田 正純 (座長補佐： 錦澤 滋雄)

1	11:05-11:25 A	「風力発電の環境影響評価における課題と動向」 ○相澤寛史（環境省）、會田義明、水落朋子、日下崇、生田雄一
2	11:25-11:40 B	「風力アセス大臣意見等にもみる配慮書手続きの課題」 小堀隆憲、都瑠純秀、原暁生、福池晃、小野寺一剛、渡邊明日美、○池本久利（日本環境衛生センター）
3	11:40-11:55 B	「風力アセスメントにおける生態系解析の動向」 ○西林直哉（日本気象協会）、林悦子、竹岳秀陽、北村亘
4	11:55-12:10 B	「風力アセスに特化した勧告等における指摘事項等の抽出及び対応の検討」 ○小堀隆憲（日本環境アセスメント協会）、都瑠純秀、池本久利、原暁生、福池晃、小野寺一剛
5	12:10-12:30 A	「風力発電所のリプレースにおける環境影響評価手法の合理化に関する検討報告書について」 ○水落朋子（環境省）、相澤寛史、會田義明、田中友之、給田周作

ポスターセッション（注：肩書きは主報告者のみ）

大会1日目【コアタイム 9月4日（金）11:30-13:30】

8号館地下ホワイエ ポスター会場

※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	「その自然再生事業、本当に必要ですか？～亜熱帯域閉鎖性内湾における自然再生事業の便益算定事例～」 矢代幸太郎（(株)東京久栄）、神尾光一郎、橘川泰憲、田中亮三	一般
2	「風力発電の環境アセスにおける渡り鳥の調査方法の検討」 見上伸、高橋雅也（(株)日立パワーソリューションズ）、田中和英、市村聡、島田泰夫、和田伸久、谷口綾、魚崎耕平、戸谷充雅	一般
3	「火力発電所用大気アセスメント支援ツールの開発」 佐藤歩（電力中央研究所）、吉田保衡、古橋規尊	一般
4	「生物に対する好嫌性を考慮した歩行空間における緑地評価の基礎的研究」 伊東英幸（日本大学）、小関健太郎、佐保凌一、藤井敬宏、加藤晃敏、川崎鉄平	一般
5	「東日本における再生可能エネルギー利用と生態系影響」 大場真（国立環境研究所）、藤井実、林希一郎	一般
6	「エゾモモンガの通り道―道路による生息地分断を解消するために」 浅利裕伸（(株)長大）、柳川久	若手
7	「異なる森林環境におけるガ類の食性分類群による環境応答」 東郷有城（龍谷大学）、遊磨正秀	若手
8	「生物多様性・生態系サービスの将来予測におけるシナリオアプローチのあり方」 長谷川泰洋（森林総合研究所）、岡部貴美子、滝久智	若手
9	「風力発電事業における工事中の環境影響について」 五十嵐明（日本気象協会）、牧宏幸、東一樹、大塚正義、小川菜々子、水野建樹	若手
10	「風力発電施設建設のための農地転用に関する研究」 今村友彦（東京工業大学）、錦澤滋雄、村山武彦	若手
11	「野生動物と車両との衝突を防ぐための取り組みの紹介」 野呂美紗子（北海道開発技術センター）、原文宏、萩原亨	若手

宿泊

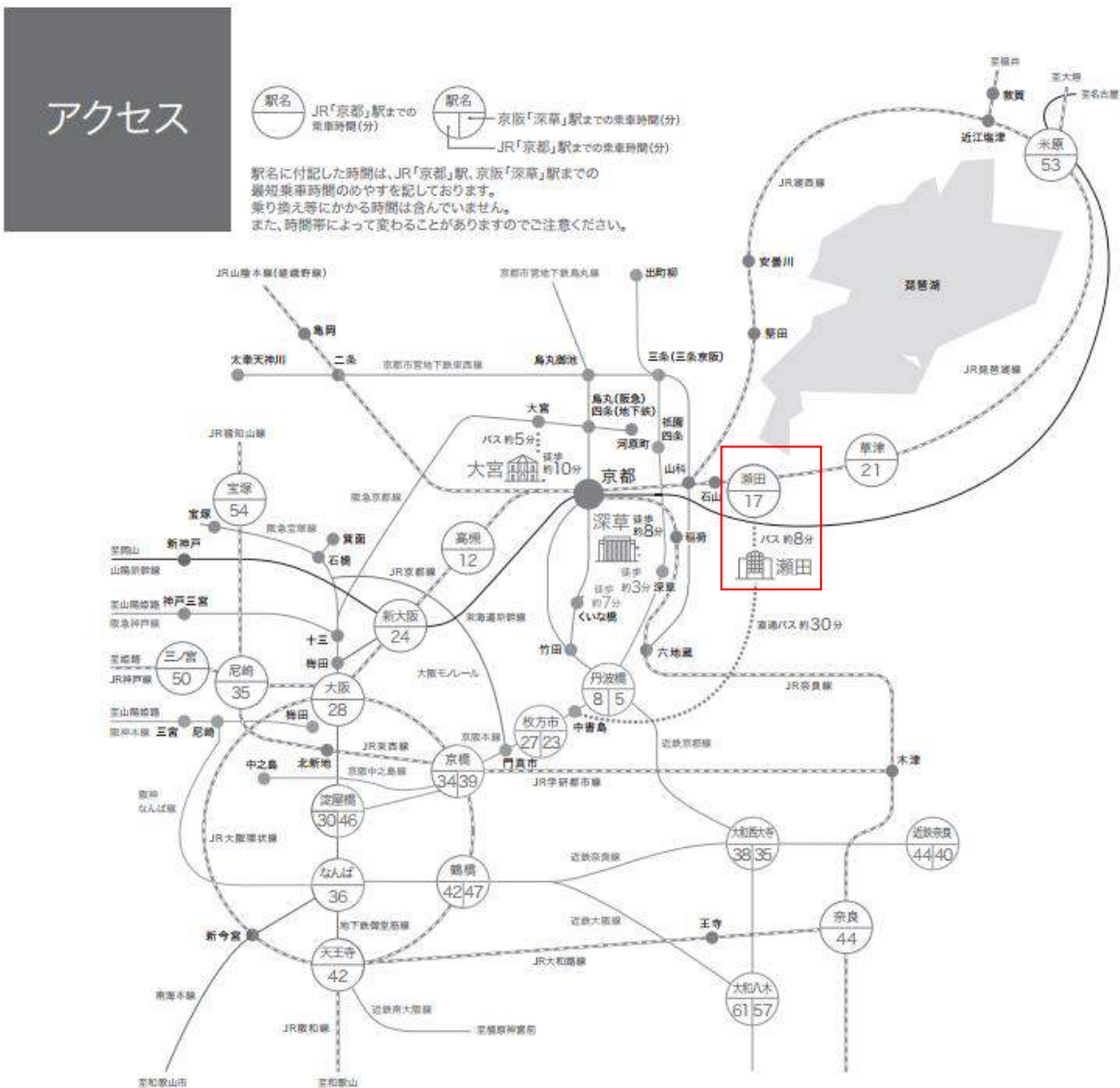
瀬田駅前には2軒ビジネスホテル（瀬田アーバンホテル、スマイルホテル大津瀬田）があります。JR琵琶湖線・京都～野洲には、ほとんどの駅前にビジネスホテルがあります。琵琶湖畔、瀬田川畔（石山、南郷）には温泉施設付きのホテル、旅館があります。

会場周辺

大学周辺には徒歩で行ける食堂はございません（学内の食堂は営業しています）。瀬田駅周辺には食堂、飲食店は多数あります。

大学は瀬田丘陵の中にあり、海拔は150m～160mです。近くには、大津宮建設の生産遺跡群や万葉集に詠まれた田上山があります。瀬田の夕照は近江八景の一つで、唐橋から眺める琵琶湖の夕景色のことを言います。JRで瀬田川（石山～瀬田）を渡るとき、南に広がる琵琶湖と北の唐橋方面の景色を楽しんで下さい。秋月で有名な石山寺、晩鐘で有名な三井寺も近くにあります。

龍谷大学瀬田キャンパスへの交通



JR 琵琶湖線「瀬田」駅下車（京都駅から普通 17分）

帝産バス約 8分（バス乗り場 3番：龍谷大学行き/龍大経由公設市場行き）

タクシー約 5分（1,200円程度）

バス時刻表

(夏期休校ダイヤ)

8/6(木)~9/17(木)

帝産バス標準時刻表

H27.7.13

帝産湖南交通株式会社

草津営業所 077-562-3020

※8/11(火)~16(日)はお盆ダイヤ(裏面参照) ※9/18(金)~通常ダイヤ

瀬田駅発 → 龍谷大学 行き		石山駅発 → 龍谷大学 行き		龍谷大学駅発 → 瀬田駅・龍谷駅・石山駅 行き										
平日用(月~金)		休日用(土・日・祭日)		平日用(月~金)		休日用(土・日・祭日)		平日用(月~金)			休日用(土・日・祭日)			
行先	龍谷大学	龍谷大学	龍谷大学	行先	龍谷大学	龍谷大学	龍谷大学	行先	瀬田駅	石山駅	龍谷駅	龍谷大学	石山駅	
経由	一里山・朝倉・瀬田公園	一里山・朝倉・瀬田公園	一里山・朝倉・瀬田公園	経由	建部大社	建部大社	建部大社	経由	瀬田駅	石山駅	龍谷駅	龍谷大学	石山駅	
7	08 35 55	08 38 55	08 38 55	7				7						
8	17 35 43 50 55	15 35 45 50 55	15 35 45 50 55	8	56		市○ 50	8	13 35			13 33		
9	01 09 25 35 40 49	01 13 27 45	01 13 27 45	9			市○ 35	9	00 18 48			05 18 48		
10	10 24 46	01 16 46	01 16 46	10	38		市○ 00	10	03 18 33			04 18 33		
11	01 16 46	01 16 46	01 16 46	11				11	03 18 33	15	00	04 18 33	○ 15	
12	01 16 46	01 16 46	01 16 46	12	50			12	04 18 33	50		04 18 33	○ 40	
13	01 16 46	01 16 46	01 16 46	13			市○ 00	13	03 18 33			04 18 33		
14	01 16 46	01 16 46	01 16 46	14				14	04 18 33		00	04 18 33		
15	01 16 46	01 16 46	01 16 46	15				15	03 18 34	30	30	04 18 34	○ 30	
16	01 16 46	01 16 46	01 16 46	16				16	03 18 33 40 48			03 18 34		
17	01 16 31 46	16 46	16 46	17				17	03 10 27 34 44 49	00	10	03 34 44	○ 05	
18	01 16 31 46	16 46	16 46	18				18	03 15 33 49	50		03 34	○ 55	
19	16 46	16 46	16 46	19				19	03 34 48			03 34		
20	16 44	16 44	16 44	20				20	06 34 54			06 34 54	○	
21	16	16	16	21				21	30			30		
22	05			22				22	22					
23	01			23				23						
備考	□: 龍谷大学經由大津市公設市場行 ○: 日・祭日運休 ※交通事情により多少の時差がございますがご了承下さい。			備考			□: 大津市公設市場經由石山駅行 ○: 日・祭日運休 ※交通事情により多少の時差がございますがご了承下さい。			備考				

バス停 (瀬田駅)



瀬田キャンパス構内図

